

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班

提出日：令和 03 年 5 月 5 日 報告者：小笠原恵

行事種別	講演会	行事番号	210000115	
開催日	令和 03 年 4 月 3 日 (土)			
時間	開始	15 時 30 分	終了	17 時 0 0 分
場所	常滑市民病院にて Web ライブ配信 (所在地 常滑市)			
テーマ	生殖補助医療と内視鏡手術			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	社会医療法人財団新和会 八千代病院	小笠原 恵 技師		
講師	常滑市民病院 婦人科統括部長 黒土升蔵 講師			
内容	<p>2021 年度生殖医学検査研究班講演会は、新型コロナの影響で集合型ではなく Web ライブ配信として Zoom を使用し常滑市民病院から生配信した。講演会のテーマは、「生殖補助医療と内視鏡手術」としてご講演いただいた。不妊症の診療においては、まず必要な検査を行い原因に対する適切な治療を行うことが肝要である。私たち胚培養士は基礎的検査としての精液検査を始め、高度生殖補助医療としての体外受精に日々携わる中で、婦人科の子宮内膜ポリープなどの基礎疾患治療をあながち軽視しがちである。しかし、子宮筋腫や子宮内膜症、子宮内膜ポリープ、卵管閉塞などの器質性疾患が不妊症の原因と考えられる場合には、腹腔鏡手術、子宮鏡手術、卵管鏡手術などの内視鏡手術の適応を考慮すべきであるという基本概念を今一度この講演を通じて教えていただいた。</p> <p>前半は、多くのスライドを提示し初心者でもわかり易く生殖補助医療をご説明いただいた。生殖補助医療のルールは、個々のクリニックや病院によっても統一したものがないのが現状である。常滑市民病院の生殖補助医療の治療方針は、自施設と比較することができ大変参考になった。後半は、具体的な内視鏡手術の動画を、多くの症例を挙げ且つイラスト付きのガイドがあり、非常にわかり易くそして興味深く聴講することができた。どの症例も大変貴重な映像であり、見ている私たちは瞬きすら惜しむほど釘付けになった。また術後の妊娠経過も話され、日常業務に直結する症例として大変勉強になった。</p> <p>また必ずしも婦人科疾患を治療した後に、生殖補助医療に移行するのが前提ではなく、患者の年齢や疾患背景等を考慮した治療方針に対しても、大変共感でき明日からの業務に大いに役立つ内容であった。Zoom ライブ講演は、大きなトラブルもなく無事終了す</p>			

	ることができた。
参加者	総数：22名（会員16名、県外会員5名、その他講師1名）
共催、後援など	

2019.12.7